

通級指導教室 自立活動指導案

対 象 第4学年1組 3名

会 場 ステップ教室

授業者 坂倉 孝枝

1 単元名 「ふわふわ言葉マスターになろう」

2 単元の目標

- 人間関係を円滑にすすめるための言葉を知る。
- 場面に応じて、コミュニケーションを円滑に行う。

☆関連する自立活動の内容と項目

- 【3 人間関係の形成】 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。
- 【6 コミュニケーション】 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

3 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 人間関係を円滑に進めるための言葉や、その必要性を知ることができる。 ② 場面に応じて、適切な言葉掛けをすることができる。	① 他者の心情に配慮して話している。 ② 場面に合った伝え方をしている。	① 自分からコミュニケーションをとろうとしている。
活動場面に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・知っているふわふわ言葉を発表している。 ・マナーを守って聞く態度が身に付いている。 ・場の状況に合った言葉掛けをする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームメイトに声を掛けながら進めている。 ・相手の注意をひいてから自分の意見を話している。 ・相手の意見に返事や相槌などの反応をしている。 ・相手の心情に配慮して感想を話している。 ・意見を一つにまとめて確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から相手に呼び掛けて話している。

4 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元では、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の自立活動の内容「3. 人間関係の形成(2) 他者の意図や感情の理解に関すること」及び「6. コミュニケーション(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること」に重点を置き、集団生活で必要な対話力を身に付けることをねらいとしている。相手の言葉を受け止めて、他者感情に配慮しながら自分の思いを伝える力を養うことで同年代の相手との円滑な対話につなげ、自分の世界を広げていってほしい。

(2) 児童観

本グループは、4年生3名のグループで、これまでも一緒に小集団学習を行った経験がある。3名とも「個別指導」1時間、「小集団指導」1時間の週2時間指導を行っている。前年度までに話を聞く時のマナーとしてよい姿勢で聞く、話している人を見る、相槌を打つ、最後まで聞くなどの指導を行ってきた。聞くときの基本的なマナーは学習してきたものの、姿勢の保持、集中の持続が難しく話を聞くことに課題がある児童である。また、途中で自分の話を始めてしまう、相手の感情に配慮できない発言をしてしまう、相手の話に注意を向けられない、反応できないなど行動のコントロールの苦手さ他者意識の低さも見られる。中学年の目指す児童像「自分を広げる 他者を受け止める 他者との意見の相違を認め、なりたい自分を目指す」実現のために、小集団指導の中で具体的な言葉のかけ方を学ばせ、他者と友好的に語り合い、よりよい自分に近づくためのコミュニケーション力を伸ばしていきたい。

(3) 教材観

本単元では、相手が聞いたときにうれしい気持ちになる言葉「ふわふわ言葉」を使って協力ゲームや話し合い活動を行っていく。単元の最初に「ふわふわ言葉」を出し合って共有し、それを意識しながら活動を進めていく。活動は毎時間2つ設定し、1点目では「ふわふわ言葉」を使うことに重きを置いたチームプレーとして「風船バレー」を行い、とっさの言葉掛けを練習していく。2点目では言葉のやり取りに重きを置いた話し合い活動として「クイズ大会」を行い自分の意見を話すこと、相手の意見を聞くこと、相手の意見に対して相槌を打ったり返事をしたりなどの反応を返すこと、決まったことを確認することなどを学んでいく。自分の意見をもつことが苦手な児童、どのような返事を返せばよいのか分からない児童もいるので、担当教員と適宜相談する時間を取りながら話し合いの手順を確認していく。

自分の話をしたり相手の話を聞いたりすることを苦手とする児童なので、導入の場面では「こころかるた」を使用して話すこと、聞くことの基礎的なトレーニングも行っていく。

5 単元の指導計画と評価計画（全3時間）

時	目標（●）と主な活動（○）	評価規準[方法]
1	<p>●ふわふわ言葉を集めて使ってみよう。 ○なりたい自分に近づくために必要な力を考える。 ・自分で決める。 ・自分のことは自分でできるようになる。 ・他者となかよく関わる。 ○なかよくなれるふわふわ言葉を集める。 ○風船バレーをしながらふわふわ言葉を使う。 ○振り返りをする。</p> <p>●話し合う時のポイントを知ろう。 ○「提案する」「意見を聞く」「返事をする」「確認をする」の4つのポイントを知る。 ○ポイントを意識してクイズ「どこが変わったでしょう」のクイズを話し合う。 ○クイズを出し合う。 ○振り返りをする。</p>	<p>アー①[発言]</p> <p>アー②[発言]</p>
2	<p>●話を聞く時のマナーを身に付けよう。 ○順番にこころかるたをひき、カードの質問に簡潔に答える。 ○友達の話が終わるまで静かに聞く。 ○振り返りをする。</p> <p>●ふわふわ言葉を使って仲良く風船バレーをしよう。 ○前回のふわふわ言葉を確認してから風船バレーを行う。 ○振り返りをする。</p> <p>●4つのポイントを考えながら話し合いをしよう。 ○相手の意見に反応することを重点目標に「どこが変わったでしょうクイズ」の話し合いをする。 ○クイズを出し合う。 ○振り返りをする。</p>	<p>イー①[発言]</p>
3 本 時	<p>●相手の話にふわふわコメントをしよう。 ○相槌を打ちながら聞き、感想を伝える。</p> <p>●ふわふわ言葉マスターになろう。 ○ふわふわ言葉を確認し、風船バレーを行う。 ○出てきたふわふわ言葉を書き出す。 ○振り返りをする。</p> <p>●話し合い名人になろう。 ○出し合った意見を一つにまとめて分担の確認をすることを重点目標に「どこが変わったでしょう」の問題を話し合う。 ○クイズを出し合う。 ○振り返りをする。</p>	<p>イー②[発言]</p> <p>ウー①[発言]</p>

6 研究主題との関連

本校の研究は特定の教科領域のものではなく、子どもの成長の本質に関わる研究なので、自立活動の指導案だが研究の分科会に合わせた提案をしている。

この授業で児童が主に働かせる力……対話力 共創力

友達と意見を出し合って一つに決めようとしている姿。

友達と仲良く過ごすための「ふわふわ言葉」を使おうとしている姿。

学級経営分科会

ア. 日々の振り返り

ステップ教室に通う児童は「なりたい自分」がわからない、イメージできない状態であることが多い。それは自己理解が不十分であることが一つの理由となっていると思われる。本単元の導入で行う「ころかるた」を通して、自分は何が好きで、何が嫌いで、どういう考えをもっているかを考える一つの機会になるとよい。

生活・総合的な学習の時間分科会

ア. 課題設定の工夫

生活・総合、その他の教科学習で話し合う場面が多く設定されている。ステップ教室に通う児童にはそういった際に自分の意見をわかりやすく伝えること、相手の話を最後まで聞くこと、結論が出るまで話し合いから離脱しないで参加することなど基本的なスキルが身に付いていない児童が多い。この学習を通して話し合うための基本的な力を養いたい。

特別活動分科会

ア. ファミリー班学習

コミュニケーションの苦手な児童は、他者にどのような言葉をかければよいのかわからず自分から相手に働きかける1歩が踏み出せない。ファミリー班学習では、慣れた学級から離れコミュニケーションをとる必要が出てくる。相手にかけるとよい具体的な言葉を伝えることで最初の1歩が踏み出せるとよい。また他者に対する興味関心が薄いことも関わりが希薄になる一つの要因となっている。環境調整された中でゲームを行うことで、他者と関わる心地よさを実感させたい。

9 本時（全3時間中の第3時）

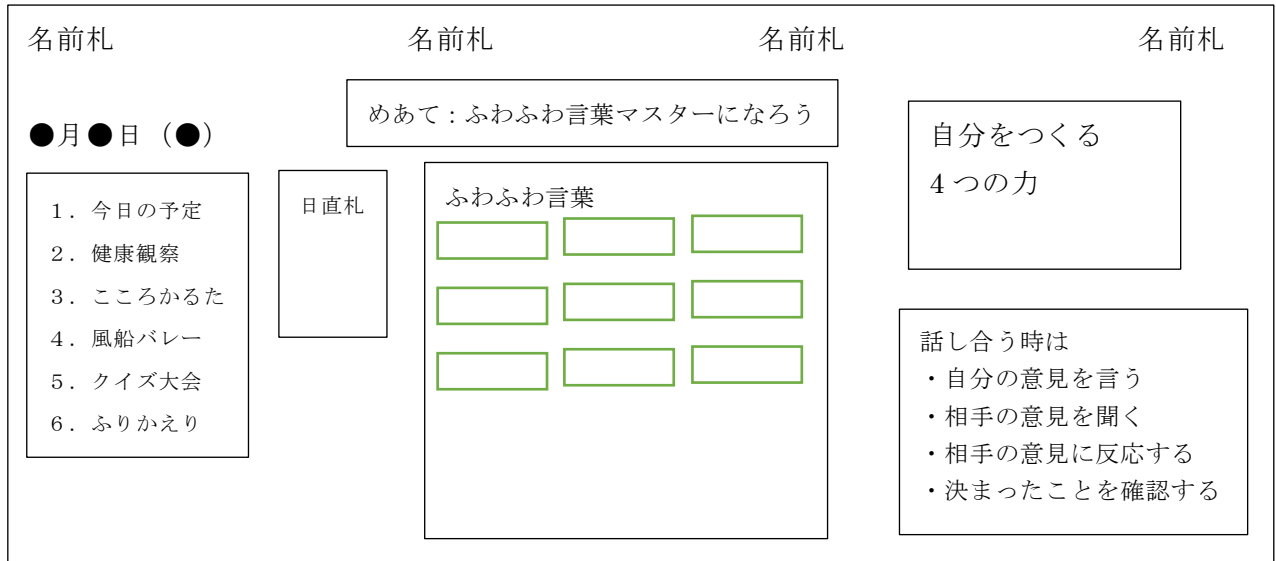
(1) 本時のねらい

- ・意見を出し合って一つに決めることができる。

(2) 本時の展開

時間	児童の活動	・指導者の活動 ◎評価[方法] ●指導改善例	☆児童が働かせる力
導入 (15分)	<p>●本時のめあてと流れを確認しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>めあて 「ふわふわことばをつかって ことばのやり取りをしよう」</p> </div> <p>●相手の話にふわふわコメントをしよう ○順番にころかるたをひき、カードの質問に答える。 ○友達の話が終わるまで静かに聞く。 ○相槌を打ちながら聞き、他者感情に配慮した感想を伝える。</p>	<p>・本時のめあてと流れを確認し、健康観察を行う。</p> <p>・前時に出し合った「ふわふわ言葉」を黒板に掲示する ・ころかるたの進め方とめあてを確認する。 ・コメントの例を具体的な言葉で伝える。 ◎相手の心情に配慮して感想を話すことができたか。【行動観察】</p>	
展開 (25分)	<p>●ふわふわ言葉マスターになろう ○ふわふわ言葉を確認し、風船バレーを行う。 ○友達に言われてうれしかった言葉を発表する。 ○振り返りをする。</p> <p>●話し合い名人になろう。 ○出し合った意見を一つにまとめて分担の確認をすることを重点目標に「どこが変わったでしょう」の問題を話し合う。 ○順番に問題を出す。 ○振り返りをする。</p>	<p>・前回使われた「ふわふわ言葉」を確認する。 ・活動の手順とめあてを確認する。 ・教員が一人入り手本となる言葉掛けを行う。 ・活動中「ふわふわ言葉」が使われたら価値付ける。 ・参加できない児童は教員が付き添って見学をさせる。 ◎場の状況にあった言葉掛けをする力を身に付けている。【行動観察・発表】</p> <p>・活動の手順とめあてを確認する。 ・話し合いのポイントを確認する ・グループごとに教員が付き、助言をする。 ◎意見を一つにまとめて確認をすることができたか。【行動観察】</p>	<p>☆【共創力】 自分の意見を伝え、相手の意見を受け止めて決定することができたか（発言）</p>
まとめ (5分)	<p>●振り返りをする。 ○学習の感想を発表する。</p>	<p>・感想で「楽しかった」等が挙がった場合は、どうしてそう思ったのか詳しく考えるよう問い掛ける。 ・実生活でも使っていくよう声を掛ける。 ◎自分ができるようになったことや友達のよさに気付くことができたか【発表、ワークシート】</p>	

(3) 板書計画



(4) 配置図

